

深貝善太郎先生略歴

大正14年2月	東京都に生る
昭和22年3月	(旧制) 中央大学専門部経済学科卒業
昭和25年3月	(旧制) 中央大学商学部卒業
昭和25年4月～昭和28年3月	(旧制) 中央大学大学院商学研究科
昭和28年4月	島根大学助手(文理学部)
昭和29年12月	島根大学講師(文理学部)
昭和33年1月	島根大学助教授(文理学部)
昭和43年12月	島根大学教授(文理学部)
昭和53年6月	島根大学教授(法文学部)
昭和63年3月	島根大学定年退官

深貝善太郎先生著作目録

論 文

利子生み資本の実存形態としての擬制資本 「バンキング」第79号 産業経済社	昭和29年10月
擬制資本と現実資本「島根大学論集(社会科学)」第1号	昭和30年2月
資本の商品化ということについての覚え書「島根大学論集(社会科学)」第2号	昭和31年2月
利子生み証券について 島根大学法学会「島大法学」第2号	昭和31年2月
利子生み証券における資本擬制について 「バンキング」第98号	昭和31年5月
銀行資本と銀行利潤 「バンキング」第107号	昭和32年2月
近代的利子生み資本の本質とその実存形態 「島根大学論集(社会科学)」第3号	昭和32年3月
不換銀行券の質的規定 「バンキング」第141号	昭和34年12月
紙券通貨の同一性と差別性「島根大学開学10周年記念論文集(社会科学篇)」	昭和35年2月
兌換銀行券の不換銀行券への転化の可能性に関する覚え書 一不換銀行券の発生関係一 「島根大学論集(人文科学)」第13号	昭和39年2月
銀行信用と商業信用 「バンキング」第197号	昭和39年8月
価値表章と信用貨幣 一飯田繁教授の<兌換銀行券の本質における否定要因の潜在>観に関連して一 「バンキング」第206号	昭和40年5月
信用の必然性に関する覚え書 一信用と資本の信用機構との基本規定一	

- 島根大学文理学部紀要法学科篇「島大法学」第14号 昭和43年10月
 兌換を停止された銀行券の金にたいする代表関係について
- 島根大学文理学部紀要法学科篇「島大法学」第17号 昭和47年2月
 (金融学会編「金融論選集」19, 東洋経済新報社, 再録 昭和48年5月)
 兌換を停止された銀行券と<貨幣>としての金の諸機能
- 島根大学文理学部紀要法学科篇「島大法学」第18号 昭和47年8月
 インフレ物価騰貴の名目性とインフレーションの政策用具としての性格について
- 島根大学文理学部紀要法学科篇「島大法学」第20号 昭和48年11月
 インフレーションの一般規定と信用および市場価格の問題
- 島根大学文理学部紀要法学科篇「島大法学」第22号 昭和49年10月
 インフレーションの基礎理論と現代通貨供給機構とに関する覚書
- 島根大学文理学部紀要法学科篇「経済科学論集」創刊号 昭和50年10月
 不換のドル通貨の国際通貨としての流通根拠と為替相場 — 国民通貨の国際通貨
 化の可能性と現実性についての覚書 —
- 島根大学法文学部紀要法学科篇「経済科学論集」第5号 昭和54年10月
 国民通貨の国際通貨化と退職貨幣 — 不換ドル通貨の国際通貨としての流通根拠
 に関連して — 金融学会編「金融学会報告」52, 東洋経済新報社 昭和56年5月
 資本の商品化ということについて
- 島根大学法文学部紀要法学科篇「経済科学論集」第9号 昭和59年2月
 「信用と架空資本」覚え書 島根大学法文学部紀要法学科篇「経済科学論集」第10号
 昭和60年3月
 「信用, 架空資本」論と信用創造論
- 島根大学法文学部紀要法学科篇「経済科学論集」第11号 昭和61年3月

口 答 発 表

- 兌換銀行券の不換銀行券への転化の可能性について
 中四国商経学会, 松山商科大学 昭和38年12月
- 価値表章と信用貨幣 金融学会西日本部会, 広島大学 昭和40年4月
- 信用の必然性について 中四国商経学会, 広島大学 昭和43年12月
- 兌換を停止された銀行券と<貨幣>としての金の機能
 金融学会西日本部会, 熊本商科大学 昭和47年10月
- 国民通貨の国際通貨化と退職貨幣 金融学会, 中央大学 昭和55年5月